

# 【 議 事 録 】(概要)

実施日時 令和2年8月26日(水) 18:30~20:00

会 議 名	越谷市総合振興計画審議会 都市基盤整備部会 第2回会議	会場	越谷市役所本庁舎5階 第2委員会室
件名/議題	【越谷市総合振興計画審議会都市基盤整備部会 第2回会議】 1 開会 2 議事 都市基盤整備部会 報告書(案)について 3 その他 4 閉会		資料:( <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)
出席者	<委員>(7人) 〔2号委員〕 渡辺明子委員、会田雄一委員、浅見昭一委員 〔3号委員〕 阿部利幸委員、岡田弘委員、藤田融委員 〔4号委員〕 中村英夫委員 <事務局>(3人) 市長公室政策課:戸張調整幹、須谷主事 策定業務支援者:ランドブレイン株式会社(1人) <傍聴者>(0人)		
欠席者	〔2号委員〕久保田和夫委員		

●合意・決定事項

別紙 (■有 □無)

内 容

- ・部会報告書に関して、第2回会議での部会委員からの意見等を踏まえ、最終的な修正については、部会長・副部会長に一任することです承した。

## 越谷市総合振興計画審議会都市基盤整備部会 第2回会議 会議録概要

### <越谷市総合振興計画審議会都市基盤整備部会 第2回会議>

#### 1 開会

政策課戸張調整幹の司会により越谷市総合振興計画審議会都市基盤整備部会第2回会議を開会

資料確認及び前回会議録の確認  
中村部会長より開会のあいさつ

#### 2 議事

・傍聴者の確認（傍聴者無し）

##### (1) 都市基盤整備部会 報告書（案）について

事務局から【資料1】報告書（案）、【資料2】報告書（案）への意見反映状況について説明を行った。

- (部会長) ただいまの事務局からの説明につきまして、何かご質問等がございましたらお願いします。
- (委員) 意見4、空き家対策についてどのような状況に対して何をするのが伝わらない。元の意見は資料2の20番にあり、市として空き家を譲り受けたり、集約するということだったと思う。「高齢者が亡くなり、空き家が今後増えることを想定して」、など問題意識を入れる、転入者やこれからの住まい方に合わせて有効活用や的確な対策を入れるなど、方向性がわかるような文言が入った方が市としての問題意識が伝わると思う。
- (事務局) 具体的には書きづらかったので大きなくくりでまとめさせていただいた部分がある。もう少し具体性を出していければと思う。
- (委員) 神戸に家を持っているが、市から解体するなら補助金を出すと連絡が届いた。そういうことはしているのか。相談先も記載されていた。
- (委員) 3年前に空き家に関する法律ができ、各自治体においても空き家対策に係る計画策定が進んできている。
- (委員) 空き家対策については建築住宅課で取り組んでいるのもう少し具体的に書けるはずである。2年前に越谷市の各自治会あてに空き家調査依頼があった。報告だけで終わっているが、一応動いているはずなのでもう少し具体的に記入できると思う。
- (委員) 空き家で住民が問題意識を持つのは、衛生面、火災、死亡事件である。周辺住民は不安を抱いて生活しているので、払しょくしてあげたい。動きがわかる文言を入れていただきたい。
- (委員) 一例だが、越谷市の建設協会も提携しているので、空き家対策をどうするか、アプローチへの対応など動いていることは確かなのでお願いしたい。
- (事務局) どこまで細かいところが出せるかを検討して、具体性を入れた形で修正させていただく。
- (委員) 意見2について、前回通学路について話をしたが、もう少し詳しく、障がい者、子ども、高齢者など入れていただくと具体的な形になるのではないか。
- (委員) 例示的に児童や高齢者などすべてのということですね。
- (事務局) 広くとらえさせていただいていたが、いくつか例示を上げる形で修正を検討したい。
- (委員) 意見3の緑化に関しては、最近では樹木が無い住宅が多く建っている。若い人たちは樹木を好まない傾向にあり、大きくなる木はいらないということは耳にしている。ここに樹木を入れるのはどうなのかと思う。快適な環境というのは個々の家庭では考えて

おらず、建築業界の傾向で樹木を植えず駐車場を設けるということも耳にしている。皆様のお話を聞きたい。

- (委員) 開発指導課で、面積の縛りがあると思う。まったく植えないで建てさせてはならないと思う。
- (事務局) 面積の広い開発行為については緑化基準があるが、個人住宅において強要するものはない。方法としては、地域によって建築協定や地区計画で緑化を行う地域も市内にいくつかある。全体的な取組でなければ、個々人の建築に関して緑化を依頼することは難しく、公園や街路樹等公的な内容を盛り込んでいる。
- (委員) 個人的な話になるが、自宅の前にある施設ができたが樹木がない。おかしいと思い情報公開で調べたら作ることになっている。10年近くなし崩しでそのままになっている。罰則規定はないのだろうか。緑化計画をつくる時に考慮する必要があるのではないか。
- (事務局) 一定規模以上のものについては義務付けや規定があるので、開発関係部局の担当者に今後しっかり指導していくように伝える。
- (委員) 道路に関して、越谷市においては南北については多少動いているが横方向に真ん中で突き抜ける道路がない。計画が途中で止まり、そこに住宅がどんどん建っている。計画があるのに実際は進んでいない。事情はあると思うが、もともと人がいたところは発展せず、なかったところでは進んでいる。住民は悩まされている。道路で生活が変わる。東埼玉道路は墓地をつくられてしまいだめになった。荻島地区でも墓地をつくらうとしたが、住民が県へ話を持っていき、市が買い取ってけりがついた。墓地を動かすためには膨大な費用が必要になる。悪徳な不動産業者もいる。計画のある道路を生かせるようにしてほしい
- (部会長) 熱い思いがあるから何か一言入れてほしい。
- (委員) 農家は高齢化で後継者が大変である。道の駅や産業団地をつくり市の収益を上げることを提案していて、市が動いたら県が飛びついてくれて、・・・結局いちごタウンや研修も東へもっていくことになった。東西が緑地であるのなら同じように発展させなければ後継者がいなくなってしまう。道の駅は東になり、数キロの間に松伏、越谷、草加、八潮がつくりたがっているが、越谷の西側に持ってきてほしいと思う。グリーンマルシェも含め東に固まっている状況があるので、先を考えて計画してほしい。
- (委員) 都市基盤の中で、越谷市の収益が上がるものを誘致していかなければいけない。周辺市には公営ギャンブルがあるが、越谷市にはない。
- (委員) 道の駅に関して、ツアーをすると4号線はよりどりみどりで、広く人も多く収益が出ていると感じる。荻島の広いところでできたらいいという意見を聞く。子供連れで楽しむことができ、地場の野菜を手に入れることができる。越谷の地場の野菜がなかなか手に入らない。グリーンマルシェには足立区のプロの方が買いに来ているが、越谷に入ると本当でない。蔵屋敷は子連れで楽しめない。地場の特産品を売る大きな場所があるといい。レイクタウンの中にでもあるといいと思った。
- (委員) 農村地域でやると朝採ったものを持ってきてくれる。特に葉物は2日持たない。八潮が小松菜を特産で持っているのは、東京に鮮度の良い状態で届けられるからである。
- (委員) 道の駅などを取り組みに入れて、例示に入れることを考えたらどうか。
- (委員) しらこぼとの公園など、何も無いところにあるのもったいない。複合的に行ける場所ができないかと思う。4号の方には飲食店もあまりない。ターゲットとして考えると、若い人たちや子どもを連れて遊びに行く人が多くなっていると感じる。
- (委員) 意見1において、「道の駅などを有効活用して」と書いて、ないといわれたら作るのも一案ではないか。
- (事務局) もともと意見1は、前回皆さんからいただいた意見を精査させていただいた。レイク

タウンや病院など、魅力的な地域資源の情報発信しようとまとめさせていただいた。道の駅など具体的な名称を出すかも含めて、地場の野菜が手に入る場所という意味合いもあると思うので、表現については検討する。

- (委員) 地域資源というところにすべて入ると思うが、地域資源といったときに具体的なものがぴんとこない。
- (事務局) 今の書き方ではあるものをアピールする内容なので、表現を変えないと難しいと思う。
- (委員) PRする方策、具体的に情報発信し、広げる具体的なものがあるといいと思う
- (事務局) 一案としては、意見1の3行目に「取り組むとともに、新たな魅力の創出を図る」という文言を追加させていただければと思う。
- (委員) コロナの問題は、ワクチンができても駄目だと思う。10年ぐらいいはこのような状態が続くのではないか。ウイルスはものすごい勢いで変異するので重症化しないくらいのワクチンしかできないと思う。治療薬ができるまでは外に向かっていけない状況が続くのではないか。地域である程度ものが完結できる状態をつくる必要がある。近くでバーベキューできるような場所など。足元を見ながら対応できる表現を入れた方がいい。歩いていけるまちをつくる。家族で過ごす時間が増え、考え方が変わると思う。
- (委員) 今の生活スタイルを崩せない、一緒に生きていかなければならない時代が続くそう。
- (委員) スウェーデンは個人主義で、三密を避け家族単位でどこかへ行こうとなっている。コロナを逆手に取った施策を進めている。レイクタウンのような大げさなものではなく、利用する人が管理するような取組みを進め、世界とのつながりが地域から見えるような越谷になるといい。
- (委員) 市内の行事や通常の会議はすべて中止になっている。この会議はやらないといけませんが。来年もどうなっているかわからない。集団の定義や間隔、人数がどうなるか。越谷市の感染者は今200人超えている。
- (委員) コロナが終わっても、働きに出なくてもよいことが分かってきた。通勤代もオフィスも必要ないので、そこに対応したまちづくりを考えていく方がいい。
- (委員) 例えば、新たなコロナ後のまちづくりに向けて、「身近で完結できる環境をつくっていく」というような言葉が入るといいと思う。
- (委員) 意見1の2行目について、都市基盤施設や自然を活用してというところで気になったのが、一人キャンプが増えていることである。今はどこも禁止されているが、子どもたちと家族がキャンプやバーベキューができる公的な施設があれば、自然を活用できるのではないか。いまキャンプ用品が売れている。近所に障がいを持つ子がいるが、テントを張って楽しそうに過ごしている。時期を限定してでも、地域の中で活用することができればいい。生活のスタイルを変えていくこともありだと思ふ。
- (委員) 今は規制緩和が広がってきている。難しいのは自由にすると人が殺到してしまうこと。誰かが管理しなくてはならない。
- (委員) 具体的にしたいが、なかなか具体的にしきれないところが事務局側として難しいところだと思う。将来的には、越谷市自然公園のようなものができればと考えているが、ここには書ききれないものがあると思う。今回要望としては、意見3について、公園のベンチ・遊具の補修についても加えていただければと思う。子どもと公園へ行くと危ないと感じることがある。
- (委員) 死亡事故が起こると国、県、市から管理見直しの通知が来る。何かが起こらなければ動かない。大水の時ポンプが動かず市長が怒った。それから普段の点検を行うようになった。事が起こってから大騒ぎするのではなく、見越すことができる余裕があるといい。
- (委員) ライフサイクルが変わってくるだろうという中で、テレワークが進み、賃貸で借りているところが解約している。越谷市でも考えていかなければならない。答申するうえ

で、次の計画のときも頭に入れておかなければいけない。

(委員) 10年分をつくり、5年目に経過を見て作り直すが、その時に先ほどのご意見がもっと強くなると感じる。

(委員) いろいろと出た意見について、報告書の方には入らないかもしれないが、2枚目の表の方に入れてはどうでしょうか。

(部会長) ありがとうございます。それでは、おおむね出尽くしたという形かと思しますので、報告書(案)についての協議はこれまでとし、今出された部分の最終的な修正については部会長・副部会長に一任とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員) 異議なし

(部会長) ありがとうございます。最終調整は私と副部会長に一任とさせていただき、完成したものを次回第6回審議会でご報告させていただきます。本日の議事は終わります。

### 3 その他

事務局から〔参考資料1〕第5次越谷市総合振興計画基本構想(案)と〔参考資料2〕基本構想案修正一覧表について説明、来月パブリックコメントを実施する旨を報告。

事務局から報酬等の支払い、次回の審議会について説明を行った。

### 4 閉会

会田副部会長より閉会のあいさつ

政策課戸張調整幹の司会により越谷市総合振興計画審議会都市基盤整備部会第2回会議を閉会

以上

この会議録は、会議内容と相違ないことをここに認め署名する。

令和2年9月24日

越谷市総合振興計画審議会 都市基盤整備部会

署名委員

会田 雄一
藤田 融
渡辺 明子